

## 死亡イノシシの例 (写真)

### 注意

次のページ以降、野生動物の死体の写真が表示されます。

苦手な方はブラウザの「戻る」ボタンからお戻りください

## ○イノシシの成獣



【体長約 140cm 体重約 90kg の成獣】



【体長約 100cm 体重約 30kg の成獣】



【体長約 150cm 体重約 100kg の成獣】

イノシシは山林の中だけでなく、畑の横や道路沿いでも死んでいることがあります。

また、夏は1日で腐敗してしまいましたが、冬は1週間程度保たれていることもありました。どんな状態でも、豚熱ウイルスの温床となり周囲に拡散する危険性がありますので、発見次第通報してください。

## ○イノシシの幼獣



【体長約 60cm 体重約 7kg の幼獣】



【体長約 80cm 体重約 20kg の幼獣】

イノシシの幼獣は「ウリ坊」とも言われるとおり、スイカ（ウリ）のような縞模様が特徴的です。右の写真のように、体重約 20kg になるころには縞模様が消えていきます。一般的にはイノシシは春に生まれ、5月～6月くらいにウリ坊をよく見かけますが、秋に生まれる場合もあるため、時期を問わず通報してください。



### ◎間違いやすい例

イノシシ以外の動物からは検体採取を行いませんので、発見場所の自治体に連絡し、回収・処分してください。また、何の動物か判断がつかない場合は、野生イノシシ対策室のメールアドレスに写真を送付してください。

### ○仰向けになったカモシカ



### ○病気にかかって毛が抜けたタヌキ

大きさはイノシシの幼獣と同程度～小さい

病気（疥癬症）で毛が抜けたため、よく知られているタヌキの姿と違う



【参考】健康なタヌキ